

楽天10th Anniversary トラベル

楽天トラベルが10周年

INTERVIEW 岡武公士社長に聞く



楽天トラベルは8月1日で会社設立10周年を迎える。2002年度12月期に627億円だった取扱額は、平均24%の成長を続け、2011年度には4207億円に達した。観光庁が5月に発表した主要旅行業者旅行取扱状況年度総計速報(2011年4月~2012年3月)によると、同社の国内旅行取扱額は、JTBの8708億円に次ぐ2位。海外旅行、外国人旅行も合わせた総取扱額は、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、阪急交通社、エイチ・アイ・エスに次ぐ6位となっている。また、前年度比で2桁成長を達成したのは同社のみだ。

前身である「旅の窓口」の創設メンバーでもあり、楽天トラベル設立時から同社を率いてきた岡武公士社長に成長の軌跡と未来戦略を聞いた。

宿泊施設、地方を元気に

「この10年間で急成長しました。社員一丸となってがんばってきたし、何よりマーケットから評価いただいた結果だと思ってる。2000年前後から旅行予約のネット化が進んだ。店舗に足を運んだり、電話で予約したりという方法にインターネット予約という選択が加わった。ネットだと早朝や深夜でも予約できるし、即時回答。リアルにはリアルの良さがあるが、ネットの利便性を重視する消費者も多い。特に旅行予約はネットとの親和性が高い」

「マーケットからの評価は業績に現れている。旅館・ホテルから評価はどうか」

「当社は、客室在庫数、販売価格決定の主導権を流通業者ではなく、宿泊施設側が持つという新しいビジネスモデルを実現した。即時性、即応性、双方向性といったインターネットの特長を活用して宿泊の販売機会を最大化し、宿泊施設自らの戦略に応じて集客できる。これが楽天トラベルのエンバワメントモデルだ」

「楽天グループは97年の創業時から『エンバワメント』という思いをもとにビジネスを展開してきた。日本を元気にするために地方をもっと元気にしたい。これが楽天グループの基本的な考え方だ」

「11年実績で国内旅行取扱額がJTBに次ぐ2位になった。成長の原動力は何か」

「旅館・ホテルを支えられた10年間だった。全国2万7千軒の契約宿泊施設の皆さまのご支援の賜物だと思ってる。成長の原動力は、宿泊施設が宿の魅力を自身でPRするのを支援するエンバワメント。イメージの浸透。直近1年間で顕著な実績をあげ、宿泊客からも高評価を得た宿に贈る『楽天トラベルアワード』や、創意工夫を凝らしたさまざまな方法で自身の宿の魅力を発信している連人に贈る『楽天トラベルマイスター』など、独自の取り組みを、より幅広いエリアに提供している」

「この数年、特に力を入れているのが地域振興への取り組み。全国の行政、観光関連団体など連携して、各地域の特集ページを制作し、各エリアの魅力を発信している。また今年6月に市場とホテルで行った『楽天スーパースター』では、例えば6月3日の宿泊取扱額は、前年比64.8%増を記録するなど、閑散期に新たな需要を創出している」

「現在の業績はどうか」

「第1四半期(1~3月)は、取扱額が前年同期比17%増の1090億円、売上高が26.2%増の88億2千万円、営業利益が26.3%増の2億6千万円と好調だ」

「他社にない楽天トラベルの強みは何か」

「楽天グループのマーケティング力だ。楽天市場、楽天トラベルなどで商品やサービスの購入に使える『楽天スーパーポイント』の存在が、グループの全顧客を楽天トラベルの見込み客にしている」

宿泊の販売機会を最大化

インバウンド誘致に本腰

「出すことに成功し、シナジー効果が出ています」

「現在620万件の投稿があるクチコミ『お客様の声』は楽天トラベルの財産。毎日約2千件の新規投稿がある。宿泊は形のない商品だけに、クチコミを参考にしながら予約するユーザーは非常に多い」

「国内宿泊販売以外の分野はどうか」

「足回りの手配機能を強化して

呼ばれるバックツアー商品。ANAと組んだ『ANA楽パック』を06年10月から、JALと組んだ『JAL楽パック』を10年9月から始めている」

「海外展開も加速している。アジアを中心に19拠点を展開している。具体的には中国(北京、上海、大連、広州、青島、杭州、南京)、韓国(ソウル、釜山)、台湾(台北)、香港、タイ(バンコク)、シンガポール、インドネ

「今後の事業展開は」

「国内旅行をさらに強化する。グローバル事業も拡大していく。インバウンド客誘致、つまり日本国内の旅館・ホテルに外国人宿泊客を誘導することを主目的に



楽天トラベルの歩み

- 1996年 「ホテルの窓口」として営業開始
- 1999年 旅行の総合サイト「旅の窓口」にリニューアル
- 2001年 「楽天トラベル」サイトオープン
- 2002年 楽天よりトラベル事業が分社化
- 2003年 楽天がマイトリップ・ネットの株式100%を取得
- 2004年 楽天トラベルとマイトリップ・ネットが合併。社名は楽天トラベル
- 2004年 「楽天トラベル」と「旅の窓口」のサイトを統合。サイト名は「楽天トラベル」
- 2005年 スターツアーズジャパン(現・楽天バスサービス)を子会社化
- 2006年 楽天グループとANAグループの共同出資で楽天ANAトラベルオンラインを設立。「ANA楽パック」販売開始
- 2007年 レンタカー予約サービスを開始
- 2008年 国内宿泊泊数累計が「1億人」を突破
- 2010年 国内旅行取扱額2位に浮上
「JAL楽パック」販売開始
- 2011年 LCC「Peach」と国内宿泊予約サービスを業務提携

会社概要

名称 楽天トラベル株式会社
 設立 2002年8月1日
 代表者 代表取締役会長 三木浩史
 代表取締役副会長 山田善久
 代表取締役社長 岡武公士
 所在地 本社営業所 〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館
 社員数 400人
 登録番号 観光庁長官登録旅行業第1755号 (第1種旅行業)
 契約施設数 国内2万7,096軒、海外6万1,802軒 (7月19日現在)
 予約流通総額(取扱額)4,207億円(2011年1~12月)

国・地域に対応した各サイト

日本語サイト

英語サイト

中国語簡体字(中国)サイト

中国語繁体字(香港)サイト

韓国語サイト

中国語繁体字(台湾)サイト